

<性の平等に関する委員会 公開学習会>

共に考えよう！高齢化社会のセクシュアル・マイノリティ

～他人事ではない介護・相続問題～

老

いは誰にでも訪れます。親や兄弟姉妹ではなく、パートナーに遺産を残すにはどうしたらよいだろうか。病院や介護施設に入居するとき、自認する性別として取り扱ってもらえるだろうか、自身や家族にセクシュアル・マイノリティがいるときは全ての施設関係者にカミングアウトしなければならないのだろうか…。

セクシュアル・マイノリティ当事者に音声継で実際の声の聞いたり、チャットで参加者の質問も取り上げながら、高齢化社会のセクシュアル・マイノリティの介護・相続問題について、専門家がパネルディスカッションを通じて考えます。

永易 至文 氏	佐藤 悠祐 氏	永野 靖 氏
		
1966年、愛媛県生まれ。1980年代末からゲイのコミュニティ活動にかかわる。出版社勤務をへてフリーライター／編集者として性的マイノリティの暮らしや老後、HIV問題を取材・執筆。2013年に行政書士登録、特定非営利活動法人パープル・ハンズ設立、同事務局長。著書に『ふたりで安心して最後まで暮らすための本』ほか。	1991年、東京都八王子市生まれ。介護福祉士。実習中に介護現場のLGBTQへの無理解を感じ、医療介護職とのつながりを持つために活動を始める。2015年に特定非営利活動法人Startline.netを設立。2020年からは訪問介護事業所SAISONを運営している。	1983年商工中金に入庫し、中小企業金融に携わった後、2000年に弁護士登録。市民や中小企業の法律問題に幅広く取り組む。LGBTからの相談も多く、経産省性同一性障害者職場処遇訴訟、日本人同性パートナーを有する台湾人在留資格訴訟の代理人を務める。「結婚の自由をすべての人に」訴訟(同性婚訴訟)弁護団に所属。

2022年3月10日(木)18:00～20:30(オンライン開催)

参加費 無料

どなたでも
参加可能

お申し込みは
3月7日まで

アーカイブは残りません。お申し込みは表面のQRコードから！（視聴環境によってはご覧いただけない場合がございます。録音録画はご遠慮ください。）

<問合せ先> 東京弁護士会 人権課 東京都千代田区霞が関1-1-3 TEL:03-3581-2205